


















チャレンジ項目記入数

20

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念及び行動理念を事務所に掲示すると共に、会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している。 ・社員との経営理念共有の為、定期的な面接及び社員の想いを文章化させ経営陣と共有する事により従業員のエンゲージメント向上に寄与している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・業務中や通勤時等事故防止の為、入社時に誓約書を交わすと共に、会議等の場で都度、法令遵守の重要性を全従業員に向け発信している。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・仕入等の担当者を明確にし、会社として公正な取引に努め、全従業員向けその重要性を発信している。 ・仕入先等に対し、不当な値引き圧力がないか、経営職がチェックする体制を整備している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者を選定し、自らの事業活動が社会・環境に及ぼす正と負の影響を把握している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・事業競争力の維持・向上の為、独自の技術によるブランド豚を生産し、商標登録を行いブランドの保護に取り組んでいる。 ・自社独自の技術、現場での経験、ノウハウ等、知的財産や営業秘密保護の為に入社時に誓約書を交わす他、他社の権利を侵害しないように、社員に重要性を発信している。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・顧客、社員等の個人情報についての規定があり、情報漏洩等ないよう厳重に保管している。 ・採用時には任意にアレルギー情報の確認を実施している為、施錠が出来る場所に書面にて保管している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・取引先の活動、取り組みに関心を持ち、勉強会に参加する等定期的な情報交換を通じて積極的な対話を図ると共に、ステークホルダーに及ぼす影響の把握に努め、持続可能な社会づくりに向けた取り組みを進めている。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・同業他社と飼料についての情報交換等を定期的に開催することにより持続可能な社会づくりに向けた取り組みに貢献している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・BCPを策定し、地震や水害など自然災害や事故などに備え年に1回避難訓練等を実施する。									9		11		13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト


















事業者名: 熊本興畜株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)


















チャレンジ項目記入数

20

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・あらゆる雇用条件において、差別しない体制・運営を徹底している。また、ハラスメント禁止について、就業規則に定めている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労災0運動を実施し事務所内にカレンダーで見える化をすると共に、無事故100日達成部署へ豚肉のプレゼント等社員の意識醸成に取り組んでいる。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金に沿って、従業員(正社員・スタッフ・パート社員)のスキルや昇格要件の項目を明確化し、定期的な人事面談実施により公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や、有給休暇の取得推進、業務効率化による労働時間の短縮、時短勤務の導入等、働き方改革とワークライフバランスへの取り組みを推進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・資格取得のための費用補助制度を導入している。 ・基本的な仕事内容や管理者の心得、豚の扱い方をはじめ養豚に関する多岐にわたる内容を制定した指導マニュアルを独自に作成することで、社内の教育体制を確立している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断の経費補助を行い、健康増進への取り組みを行っている。 ・定期的に個人面接を実施することでコミュニケーションの取りやすい職場環境に寄与している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格時に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・定年制度廃止や、女性役職者の積極登用を通じてダイバーシティ経営に貢献している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・感染症対策の一つとして積極的にWEB会議を活用する等、新しい生活様式への取り組みを行っている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・オートソーティングシステム(※)を導入し業務効率化に取り組んでいる。 (※)豚の体重を自動測定し要件合致した豚を自動出荷するシステム。 ・ハブイー端末を使用し、データの取得をデジタル化している。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	ブライト企業認定済み(令和6年12月5日)			3	4				8	9			12					

チャレンジ項目記入数

20

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・豚舎で排出される廃棄物管理及び適正処理への取り組みを行うと共に、堆肥の地域還元に取り組んでいる。 ・注射針等の衛生面に配慮すべき廃棄物については飼養衛生管理基準に基づき、業者にて適切に廃棄している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・外部コンサルタントとの継続的な連携により電気監視システムの導入を行い使用量把握を行うと共に、定期的な幹部会議開催時の使用量報告により更なるエネルギー量の削減に取り組んでいる。 ・簡易計算シートを用いて、エネルギー使用量を把握している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・2024年4月より簡易計算シートを用いて、状況の把握。 ・電力消費量が多いコンポストなどの稼働ルールを明確化。エネルギーの効率化を行い無駄な稼働を行わない様に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・養豚場で発生する汚物については、堆肥化しており、環境に悪影響を及ぼさない様に配慮している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・養豚場で発生する汚物については堆肥化し、リサイクルを行っている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・豚舎で発生する排水については、浄化槽を設置し基準を満たした上で排出する等の適切な処理により水資源の保全に取り組んでいる。 外部コンサルティングによる定期的な指導を受けて検査を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事務用品についてはグリーン購入品を主体として調達している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・自社で肥育した豚の端材肉を活用し、自家製ウインナーの製造を社内で行い従業員等に支給し、食品ロスの削減に取り組んでいる。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・農場の法面にわら芝を使用し緑の創出を行っている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・外部コンサルタントとの継続的な連携により電気監視システムの導入を行い使用量把握を行うと共に、定期的な幹部会議開催時の使用量報告により更なるエネルギー量の削減に取り組み、エネルギー効率の見直しを行っている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・小国町に自社の山林を保有し、森林組合にて管理を行い持続的な森林利用への取り組みを推進している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・小国町に自社の山林を保有し、植樹の実施により森林整備活動に取り組んでいる。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・豚舎で使用する分娩器具をプラスチック製からゴム製に変更し、海洋汚染の防止に貢献している。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト


















事業者名: 熊本興畜株式会社

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数

20

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・外部コンサルタントからの定期的な衛生管理指導により、厳しい品質管理体制のもと品質確保に取り組んでいる。 ・食の安全性確保の為、飼養衛生管理基準に基づき疾病発生防止に取り組んでいる。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・農場事業所に手すりを設置し、バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・地元生産のブランド豚を精肉加工して、小国町社会福祉協議会と連携。地元の店舗で販売しており地産地消に貢献している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・小国町の豚舎(事務所も含め)は、地元の間伐材を利用し木質化に貢献している。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・全国的にも高難度である飼料要求率の最良化、効率性と安全性を両立させた養豚事業への取り組みを行う事で、食料問題へ貢献し社会課題解決に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●	・安全な豚肉を作る為に、AI/AOと呼ばれる肥育方法を採用、疾病防止に努めている。 ・WtoF方式の採用により豚の移動ストレスが軽減し、豚の発育に貢献している。 ・限られた人数で効率的な飼育を可能にする「スリーセブン」システムを導入し、生産能力向上に取り組んでいる。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・小国農場に隣接する公道等の防災活動や、除雪については全社員が積極的に取り組んでいる。地域の道路環境保全のため除草作業も自主的にやっている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・農場において、災害に備えた緊急対策を策定しており、社員の緊急連絡網を整備している。 ・事業所に防災備蓄や防災グッズを備えている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・地域消防団の活動に参加している他、小国地域等の除雪作業を社員と共に取り組んでいる。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・社内でのSDGs委員会メンバーを選定し、事業活動において資源の有効活用や、エネルギーの削減等社会課題の解決に繋がる取り組みを推進するとともに、金融機関との定期的な連携により課題解決と進捗の共有を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・毎年2名程度大学生のインターンシップ受入を行っている。 ・高校からの依頼があり、社長が高校生を対象に養豚業についての講義を行った。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の学生、生徒を積極的に採用することで県内就職を促進する取組みを行っている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・食育の場を地元の学生、生徒に提供するとともに、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。 ・高校からの依頼があり、社長が高校生を対象に養豚業についての講義を行った。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

2525

4